

市が借りているお金（市債）の状況

一般会計の借入	360億4,408万円
特別会計の借入	3億9,287万円
公営企業会計の借入	305億6,716万円
合計	670億411万円

市民一人あたりでは **72万円**

※人口9万2,785人(平成22年4月1日現在)として算出

学 校や公園などの施設の建設に必要の経費がかかるため、国や銀行などからお金を借りています。借り入れたお金の返済をとおし、将来の利用者にも公平に負担していただいています。

まちの借入金

市 は、市政を進めていくうえで必要な財産を保有し、目的に応じて効率的な運用をしています。財産には下記のとおり、公園・学校などの土地や建物、基金、証券などがあります。

まちの財産

財政健全化対策の取組結果

厳しい財政状況を克服するため、市は、平成17年度から21年度までを取り組み期間として、事業の見直しや人件費削減などの財政健全化対策に取り組みました。

その結果、5年間の合計で、当初目標の141億円（投資的な経費の削減額を除くと116億円）に対して150億4千万円の成果（投資的な経費の削減額を除くと125億5千万円）をあげることができました。

① 一般的な経費の削減額 … 98億9千万円

17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	5年間で
8.1億円	8.1億円	8.1億円	8.1億円	8.1億円	40.5億円
	7.3億円	7.3億円	7.3億円	7.3億円	29.2億円
		6.6億円	6.6億円	6.6億円	19.8億円
			3.6億円	3.6億円	7.2億円
				2.2億円	2.2億円
合計					98.9億円

※削減は翌年度以降も影響するため削減額は累積する。

② 投資的な経費の削減額 … 24億9千万円

17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	5年間で
5.2億円	5.6億円	3.8億円	5.5億円	4.8億円	24.9億円

③ 基金からの繰入金（削減額） … 26億6千万円

当初目標：11.0億円の繰り入れ
21年度決算時：15.6億円の積み立て → 差し引き26.6億円

合計（①+②+③） **150億4千万円**

市が保有する財産

【土地と建物】 下の表のとおり

財産区分	土地	建物
行政財産	1,179万3,095㎡	44万8,496㎡
公用財産	143万232㎡	4万7,825㎡
公共用財産	1,036万2,863㎡	40万671㎡
普通財産	258万4,989㎡	1万3,730㎡
合計	1,437万8,084㎡	46万2,226㎡

※公用財産：市役所など市が直接使用する財産

公共用財産：学校や公園など市民が使用する財産

普通財産：公用財産・公共用財産以外の財産

【有価証券（株券や債権など）】 34億183万円

【出資による権利（法人への資本金出資など）】 4億6,664万円

【基金（まちの貯金）】 73億209万円

※基金とは

市は、財産の維持や資金の積み立て、資金の運用をおこなうため、目的別に16の基金を設けています。

- 公共施設整備基金
- 財政調整基金
- 奨学基金
- 農業振興基金
- 国民健康保険事業財政調整基金
- 土地開発基金
- みんなで、ひと・まちづくり基金
- 減債基金
- 地域福祉振興基金
- 霊園管理基金
- ふるさと千歳国際交流基金
- 職員退職手当基金
- 介護保険事業給付費準備基金
- 特定地域振興基金
- 心のふるさと千歳基金
- 介護従事者処遇改善臨時特例基金

平

成21年度の決算は、財政健全化対策の成果が着実に現れ、一般会計では収支不足として予定していた基金からの繰り入れをすることなく決算をし、また、各特別会計についても黒字決算となりました。

しかし、歳入面では、国内景気の低迷から市税収入の増加は見込めず、歳出面では、少子・高齢化が進む中、生活を支える社会保障費用の増額が見込まれることから、支出はこれからも増加する傾向にあります。市の財政は、これからも厳しい状況が続くと考えられます。

市は、財政健全化対策により改善された収支のバランスを維持しながら、今後とも、安定したサービスの提供と持続可能なまちづくりを目指した財政運営を進めたいと考えています。引き続き、市民の皆さんのご協力をお願いします。

記事の
お問い合わせは

総務部
財政課財政係

☎(24) 0541